

# 交流人口の拡大なるか

12月11日に委員会が開催され、白鷹町観光交流推進計画の策定状況について説明を受けた。

## 【策定の目的】

人口減少社会で地域活性化をはかるにあたり、交流人口の拡大に寄与する観光の役割は大きくなってきている。ニーズに対応した実践的な施策が必要であるため策定する。

## 【観光交流の現状】

客数は減少傾向にあり、個人旅行が主流になっている。外国人観光客が地方に向けてきており、地域の特徴において差別化をはかる必要がある。

## 質疑

### 各組織の役割は

【委員】農業、商業、工業等の様々な組織体との合意、役割分担はどうするのか。

【当局】産業振興戦略会議でも、各組織の代表に説明し承知していただいている。関係機関それぞれの役割を發揮してもらいたいと進めている。

### 数値目標の分析は

【委員】入込客数の実績が目標値に達していない要因分析は。

【当局】旅行のスタイルが変わり、個人旅行が中心になってきていることが大きいと思われる。直売所も同様の要因と思われる。



紅花には魅力たっぷり

## 数値目標の達成を

# 所得の向上につながるか

白鷹町6次産業化推進戦略について説明を受けた。

## 【概要】

本町の農産物や資源を活用し、多様な事業者が連携して取り組む6次産業化を推進し、農業所得の向上、食産業の振興、地域活性化、交流人口の拡大につながるため策定する。

計画期間を5年間でし、『SHIRATAK A RED』プロジェクト』を掲げ、6次産業化の推進をはかる。

## 【主要プロジェクト】

- ① 商品開発力強化
- ② マッチング力強化
- ③ 販路開拓・拡大
- ④ 人材確保・育成活用

## 質疑

### 人口減少の影響は

【委員】人口減少により農家も農業従事者も

減っている。6次産業化の中でどう捉えているか。

【当局】新規就農者の確保にも努力していく必要がある。また、町の資源の加工面における就労ということで、少しでも人口減少を食い止めたい。

### 目指す方向性は

【委員】パターン毎の計画、成果目標は。

【当局】今の段階では示すことはできないが、最終的にはひとつの形になるよう取り組んでいきたい。

### 6次産業化のパターン

- ① 農業者が自ら取り組む
- ② 商工業者等と連携して取り組む
- ③ 地域ぐるみで取り組む

## 6次産業化のイメージ



## 早急な具体化を

- その他
- 観光協会の法人化
  - ふるさと応援制度事業
  - 白鷹町都市計画マスタープラン
- などについて説明があった。